

第20回STSフォーラム 公開シンポジウム

令和5年
9月30日
(土)

14:00-16:40
オンライン開催

暮らしの中にある科学技術 AI & Bioscience

エーアイ アンド バイオサイエンス

今年も国立京都国際会館で、ノーベル賞受賞者を含む科学者、政治家、企業家が集い、「2023年の世界－科学技術から得るべきものとは？」をテーマに議論する「科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム(STSフォーラム)」が10月1日から3日間開催されます。本公開シンポジウムは、その先駆けとして、全ての方を対象にオンライン・日本語で開催します。科学技術に興味がある方はもちろん、研究や起業などに興味のある方も、ぜひご参加ください。

■ 基調講演 I 線虫がん検査の発明と実用化、そして世界へ 株式会社HIROTSU バイオサイエンス 代表取締役 博士(理学) 広津 崇亮 氏 Takaaki HIROTSU

東京大学院博士課程より線虫の嗅覚についての研究を始め、2000年3月には、線虫の嗅覚のメカニズムを解析した論文が英科学誌「Nature」に掲載。2013年、「線虫はがん特有のにおいを嗅ぎ分けられるか？」について研究を開始。2016年には無痛・簡便・安価・高精度に早期がんを発見できる線虫がん検査の実用化に向けた会社を自ら立ち上げられました。本講演では、犬用がん検査にも応用されるようになった最先端技術や、起業された経緯などについてお話いただきます。



■ 基調講演 II

機械学習 ～経験から学ぶ人工知能とその可能性～

京都大学 大学院情報学研究科 教授 鹿島 久嗣 氏 Hisashi KASHIMA



世の中を賑わせている人工知能(AI)。その成功を支えているのが、コンピューターが“経験”すなわちデータから自ら学習して賢くなっていく「機械学習」と呼ばれる技術です。本講演では、この機械学習の基本的な考え方、深層学習や生成AIなどの近年の動向についてご解説・ご紹介いただきます。この技術の可能性や、私たちはこの技術とどう付き合っていくべきかについて、一緒に考えてみませんか？



申込方法 (参加無料・先着200名様) ※9月29日(金)正午まで
二次元コードを読み込むか、以下申込フォームよりお申込みください
<https://forms.gle/ydnk1dymyK5EhNdr6>

●主催：科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム (STSフォーラム) 支援京都実行委員会
(京都府、京都市、京都商工会議所、公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー)

●後援：特定非営利活動法人STSフォーラム、公益財団法人京都高度技術研究所、一般社団法人京都経済同友会、公益社団法人京都工業会、公益財団法人京都産業21、公益財団法人大学コンソーシアム京都、京都大学、公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構、一般社団法人京都発明協会、京都リサーチパーク株式会社